

## GIGA スクールについて

板橋区における、GIGA スクール構想の実現に向けた現状及び課題の認識等について以下のとおり報告する。

### 1 現状認識、課題について

#### (1) 現状認識について

板橋区においては、国が示している GIGA スクール構想に基づき、令和2年度に板橋区スマートスクールプロジェクトを策定し、区立小中学校に一人一台パソコンの配備と高速大容量通信ネットワークの整備を行った。

一人一台パソコンの配備は令和2年度中に完了し、高速大容量通信ネットワークの整備も令和3年8月末で完了したことにより、令和3年9月からは一人一台パソコンを活用した学習が本格的に開始されている。

一人一台パソコンの本格活用開始から約半年が経過している現状においては、協働学習アプリやAIドリルの活用が大きく広がっており、個別最適な学びと協働的な学びが、徐々にではあるが、充実してきている。

また、令和3年度からICT支援員による支援回数を拡充したことにより、各校の要望に沿ってきめ細かな支援を実施することができている。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響等により登校できない児童生徒に向けて全校でオンライン授業等を実施しており、児童生徒の学び保障につながっている。

#### (2) 課題

現状における課題として、まず1点目が一人一台パソコンの活用状況に学校によって差があることが挙げられる。

この課題に対応するために、教員研修の充実や授業実践の好事例の共有を図ること等により、全ての区立小中学校で一人一台パソコンを含めたICT機器を活用した授業革新ができるよう取り組んでいく。

課題の2点目として、特別支援学級において一人一台パソコンが十分に活用されていないことが挙げられる。

この課題への対応として、令和4年度に、事例収集・授業研究重点校として小・中学校各1校を選定し、専門的な知識のあるICT支援員を重点的に派遣することにより、ChromebookをはじめとしたICT機器を有効に活用した特別支援学級支援の活用事例集を作成する。

これにより、児童・生徒の特性等に応じた活用事例の実践を行うことができるようになり、特別支援学級における「個別最適化された学び」を実現していく。

また、特別支援学級支援に有効なアプリや入出力支援装置等のICT機器の導入について検討を行い、より一層の支援の充実を図る。

### (3) Chromebookを対象とした事業者による自主点検結果について

板橋区では、GIGAスクール構想推進のため、区立小中学校へ一人一台パソコン(Chromebook Y2)を導入している。

令和4年2月4日に、上記パソコンを製造・販売している日本電気株式会社及びNECパーソナルコンピュータ株式会社が、端末の製造工程の不備により発煙等の事象が発生したことへの対応として自主点検を実施する旨の報道発表があった。

自主点検結果について、以下のとおり報告する。

- ① 自主点検対象台数： 35,482台(うち352台は未点検 ※今後点検実施)
- ② 自主点検実施期間： 令和4年2月25日から令和4年3月25日
- ③ 自主点検結果について

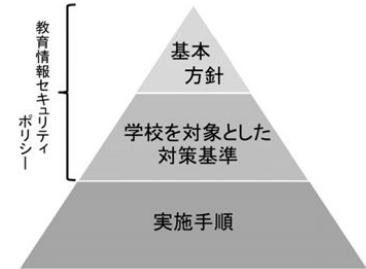
	状況	台数	対応
A	余分なネジ混入(バッテリーへの影響あり) ・発煙の可能性あり	0	余分なネジの除去 バッテリー交換
B	余分なネジ混入(バッテリーへの影響なし) ・発煙の可能性なし	2	余分なネジの除去 バッテリー交換
C	ケーブル組み立て不良(熱損あり) ・ケーブル組み立て不良でケーブルに熱損が生じている装置	0	ケーブルの交換
D	ケーブル組み立て不良(熱損なし) ・ケーブル組み立て不良でケーブル挟み込み等が生じている装置	81	ケーブルの交換
E	使用に伴う故障・破損 ・使用上の不注意等による端末の故障・破損(液晶・外装のひび、液体の侵入など)が生じている装置	278	区へ修理推奨 保守事業者において当該箇所部品を修理・交換
	異常が認められなかった措置	34,769	

## 2 セキュリティ対策について

### (1) 板橋区立学校情報セキュリティ基本方針・対策基準等について

学校が守るべき方針として、「板橋区立学校情報セキュリティ基本方針」及び「板橋区立学校情報セキュリティ対策基準」を定めている。

また、各学校においては「板橋区立学校情報セキュリティ手順書」を作成し、セキュリティ対策に取り組んでいる。



〈出典〉文部科学省

### (2) 新学習ネットワークのセキュリティ対策について

#### ① システム証明書によるセキュリティ対策

システム証明書が発行されていない端末は、新学習系ネットワークに接続できないようにシステムを構築している。

これにより、区が配備したパソコン以外からの不正アクセス等を防ぐことができています。

#### ② ファイアウォールによるセキュリティ対策

新学習系ネットワークにファイアウォールを構築しており、外部ネットワークからの攻撃や不正アクセス等に対してセキュリティ対策を行っている。

### (3) Chromebook のセキュリティ対策について

#### ① フィルタリングソフトによるセキュリティ対策

フィルタリングソフトを導入することにより、インターネットを利用する際に、不適切なサイトへつながらないようにアクセス制御を行っている。

#### ② ソフトウェアの自動更新によるセキュリティ対策

セキュリティ対策として最も有効なのは、すべてのソフトウェアを最新に保ち、最新のセキュリティ修正を適用しておくことである。Chromebook ではアップデートが自動的に行われるため、常に最新で最も安全なバージョンが動作するようになっている。

#### ③ サンドボックス化によるセキュリティ対策

Chromebook では個々のウェブページとアプリケーションが「サンドボックス」と呼ばれる制限された環境で動作しているため、Chromebook でウイルスに感染したページを開いたとしても、他のタブ、アプリ、その他の要素に影響が生じることはなく、脅威を封じ込めることができる。

### 3 メディアリテラシー教育について

#### (1) SNS 東京ノートの活用

東京都が作成した「SNS 東京ノート」を小学校第1学年、第3学年、第5学年、中学校第7学年に配付し、次の学年においても継続して活用している。主に第1・2学年を対象とした「SNS 東京ノート1」、主に第3・4学年を対象とした「SNS 東京ノート2」、主に第5・6学年を対象とした「SNS 東京ノート3」、主に中学生を対象とした「SNS 東京ノート4」がある。

ノートの内容としては、書込みや付属のカードを使用しながら、情報モラルについて学べるようになっている。児童・生徒が情報モラルについて、主体的に考え、話し合い、学べるよう、ノートの活用を通して、SNS 上でやり取りをする相手への配慮や、注意点について指導している。

#### (2) 特別の教科 道徳

道徳科においては、特に、情報社会の倫理、法の理解と遵守といった内容を中心に扱っている。例えば、親切や思いやり、礼儀に関わる指導の際に、インターネット上の書き込みの際に起こりやすいすれ違いなどについて触れたり、規則の尊重に関わる指導の際に、インターネット上のルールや著作権など法やきまりに触れたりしながら指導している。

#### (3) セーフティ教室

小・中学校においてセーフティ教室を実施し、児童・生徒の健全育成を図るとともに、保護者・地域の参加のもとに、家庭・学校・地域社会の連携による非行・犯罪被害防止教育の推進を図っている。その一環として、スマートフォンや携帯電話の利用に関連した危険やトラブルを未然に防ぐための授業を実施している学校がある。